

4. 自然 生きもの プログラム ②⑤

あなたは海の何番地？

屋
外
+
室
内

ねらい

沖縄を代表する海の自然「サンゴ礁」とその環境に暮らす生きものを観察し、底質（岩場や砂地）や水深といった地形と、そこに住む生きものとの関係に気づき、海の生態系について考える。

問いかけの例

私たちの身近なサンゴ礁で暮らす生きものについて考える問いかけを行う。

- サンゴ礁の海では、どのような生きものが暮らしていますか？
- 海の生きものたちは、それぞれどんな場所で暮らしていると思いますか？（岩場や砂地など）

手 順	内 容
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者に「問いかけ」を行う。 ・安全や環境への配慮について説明する。
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者に観察方法について説明する。 ・ワークシート①を用い、野外観察を行う。 ・観察で見つけた生きものについて、ワークシート②の生きものマップを作る。
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート③を用い、振り返りを行う。 ・プログラムを経験して、私たちができることを考え、意見・感想を聞く。

準備するもの (☑で確認)	<input type="checkbox"/> ワークシート①～③ <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> はさみ <input type="checkbox"/> のり <input type="checkbox"/> デジタルカメラ <input type="checkbox"/> クリップボード <input type="checkbox"/> 干潟観察ガイドブック <input type="checkbox"/> 海の危険生物ガイド <input type="checkbox"/> 透明な入れ物やトレー（生きもの観察用） <input type="checkbox"/> 魚網等
------------------	--

場所・時間帯・自然条件

- 自然海岸、岩礁や海藻場の干潟。
- 干潮時。
- 春～夏：昼間に潮が引くのはこの時期であるため。

安全のために・環境配慮

- 安全のために（P14）の、事前の準備、環境ごとの安全管理を必ず確認すること。
- 環境配慮事項（P15）の、ごみについて、環境ごとの環境配慮を必ず確認すること。
- 手にとって観察した生きものは、もとの場所に必ず戻してあげましょう。

自
然

ワークシート① (コピーして使って下さい)

どんな生きものがどこにいるのか、その場所の特徴についても観察してみましょう。

観察した生きものにを入れましょう。



海の生きものシート

ニセクロナマコ



クロナマコ



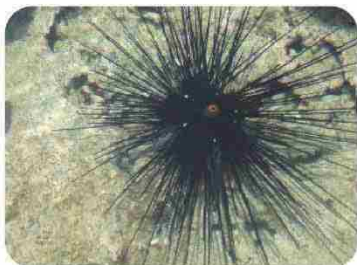
シカクナマコ



ツマジロナガウニ



ガンガゼ



シラヒゲウニ



コンペイトウガイ



キバアマガイ



ノシガイ



アオヒトデ



ウデフリクモヒトデ



フトユビシャコ



ケブカガニ



ナキオカヤドカリ



イソアワモチ

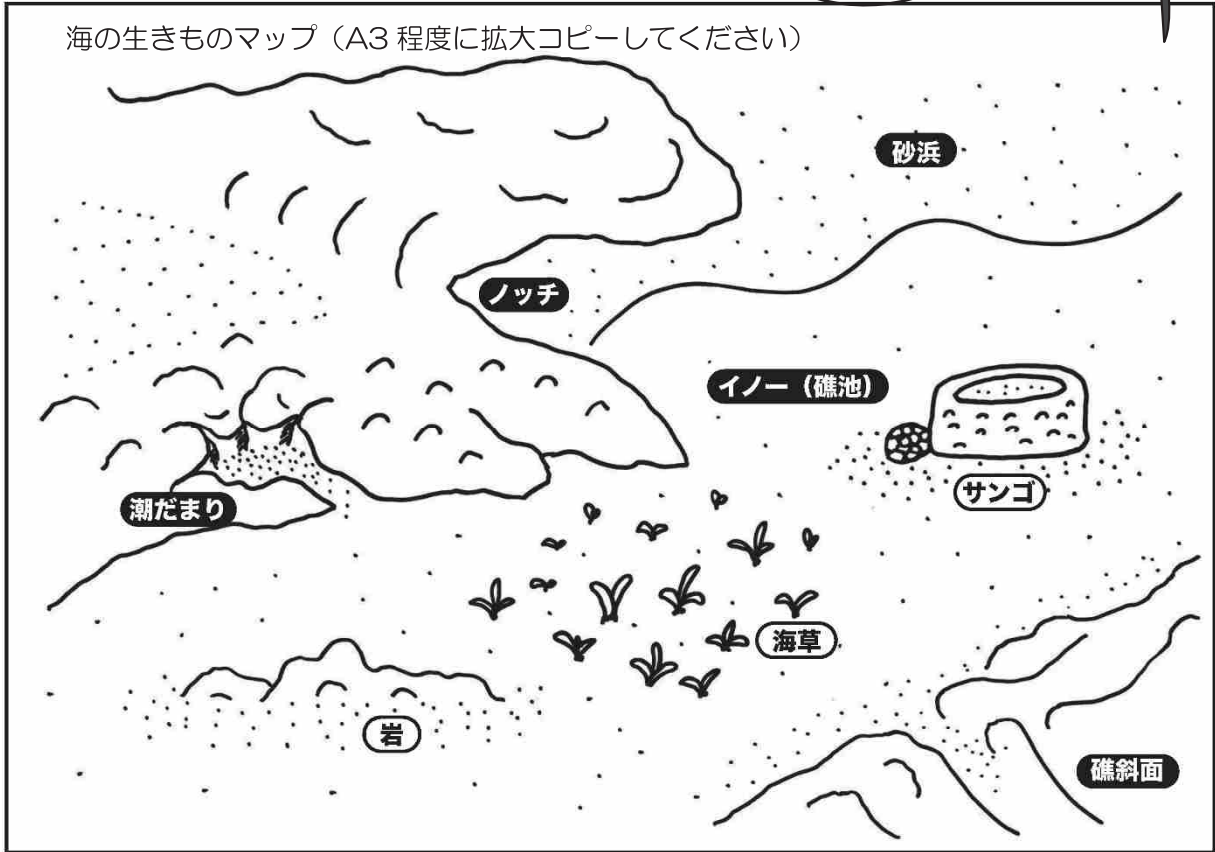
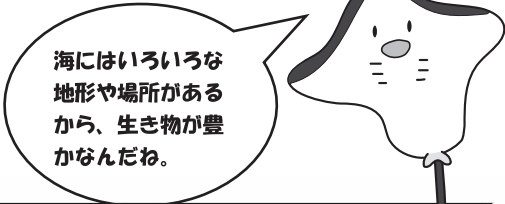


自然

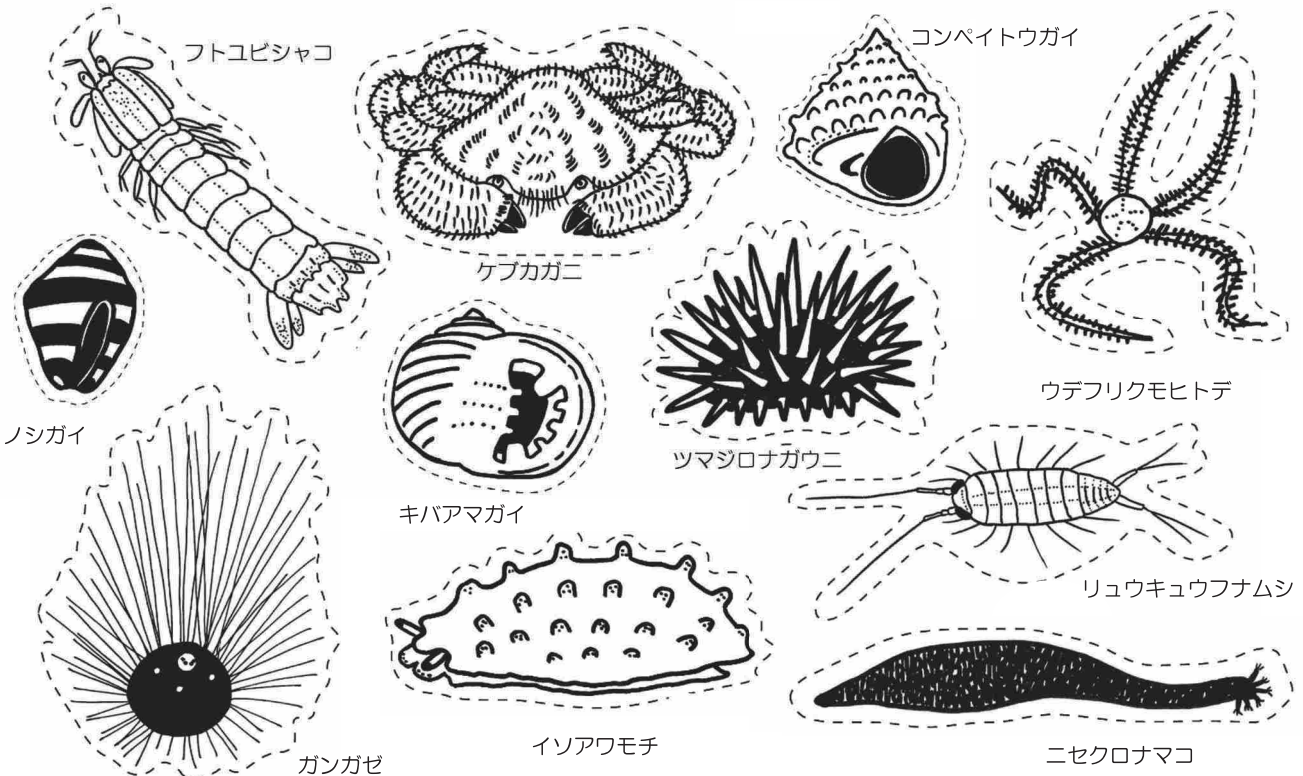
ワークシート② （コピーして使って下さい）

あなたは海の何番地？ 海の生きものを連れて行ってあげよう！

海の観察で見つけた生きものについて、下の絵から切り取り、海岸や海中のそれぞれの環境に配置してみましょう。



自然



ワークシート③ (コピーして使ってください)

振り返り

海の生きものと、それらが住んでいる場所との関わりについて考えてみましょう。また、豊かな海がいつまでも続くために、どんなことができるのか考えてみましょう。



海の生きものは、どんな場所に住んでいましたか？


海の生きもののためには、どんな環境を残しておくことが大切だと思いますか？

やってみよう


- 海は、環境によって違う生きものが見られます。砂浜、干潟、岩場など、いろいろな環境で観察してみましょう。
- 沖縄では、昔からどんな海の生きものを生活で利用していたのか、調べてみましょう。（貝がらを漁網のおもりにした…など）

もっと知りたい

調べる




おきなわ自然さんぽ（本）
 鹿谷麻夕・鹿谷法一・藤井晴彦・佐藤寛之 著
 沖縄の自然の生きものの面白いお話が、わかりやすく書いてある本。



美ら海生きもの図鑑（HP）
 美ら海水族館の海の生き物のウェブ図鑑。

見学する



美ら海水族館（HP）
 水族館を見学して、海の生き物を観察してみよう。

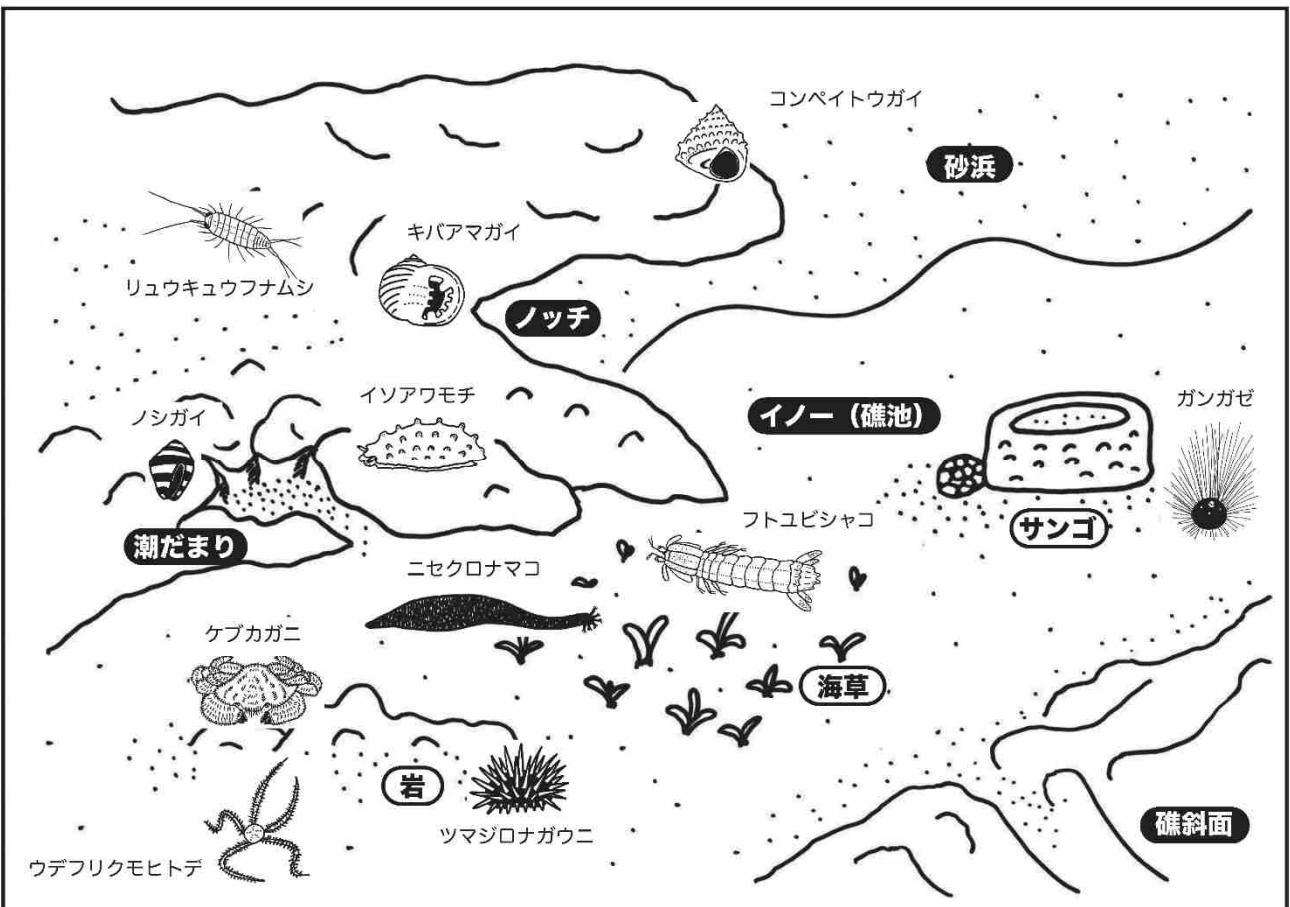
講師用資料①

ワークシート②回答例

<ポイント>

- 野外観察時には、サンゴ礁の地形と生きものの生息場所との関係に注意する。
 (例)・コンペイトウガイはどの範囲にいるのか、観察して確かめる。
 - ウデフリクモヒトデは、体全体が見える個体はどのくらいいる？
 - クロナマコはやっぱり砂地が好み！
 - 隠れないでも良い生きものはいる？それはなぜだろう。
- 海の生きものを観察した体験から、サンゴ礁の地形や素材を利用して、生きものと周囲の地形や底質（岩場や砂地）との関係について考えながら、サンゴ礁のそれぞれの場所にマッチした生きもののイラストを貼付ける。
- 参加者に、どの生きものがなぜこの場所にいると思うのか、考えて解説してもらう。

あなたは海の何番地？ 記入例)



自然

講師用資料②

ワークシート③回答例

＜ポイント＞

- 海の生きものと周りの自然環境との関わりについて考えてもらう。（サンゴ礁は、岩場や砂地、水深の浅いところや深いところなど、地形が複雑で、それぞれにいろいろな生きものが隠れています。）
- かたい体とやわらかい体、トゲがある、細長いなど、生きものの体の特徴と、住んでいる場所との関係を考えてみる。
- 生きものが暮らす海の環境の変化について、埋め立て・ごみ・汚染・温暖化などの環境問題と、生きもののすみかとの関係を考えてみる。

振り返り（記入例）

海の生きものは、どんな場所に住んでいましたか？

- 体のつくりや、食べるもの、干上がっても耐えられるかなどが生きものによって違う。
- いろいろな地形や環境があるおかげで、それぞれの環境に合った生きものが暮らせるようになる。

海の生きもののためには、どんな環境を残しておくことが大切だと思いますか？

- 生きものたちが暮らせるような、岩場や砂地などいろいろな自然環境を残しておく。
- ごみや汚れた水、赤土などが流れ出さないようにし、海の環境をきれいにする。
- サンゴや生きもののために、水温が高くなりすぎないように、温暖化を止める。

自然

